

**第 20 回 (H28 年度第 1 回) 嬉野市地域公共交通活性化協議会
及び第 21 回 (H28 年度第 1 回) 嬉野市地域公共交通会議 会議録**

会議の日時	平成 28 年 6 月 23 日(木) 10 : 00～11 : 15				
会議の場所	嬉野市役所 塩田庁舎 3F 3-2・3 会議室				
・委員	19 名(22 名中)				
・オブザーバー	2 名(3 名中)				
・その他	2 名				
・事務局	3 名				
委 員	No.	出欠	氏 名	役 職	所 属
	1	出	中島 庸二	会長	副市長
	2	出	池田 英信	副会長	総務企画部長
	3	出	山口 秀一郎	副会長	行政嘱託員(温泉 3 区)嬉野地区代表
	4	出	松尾 定平		行政嘱託員(五町田第一区)五町田地区代表
	5	出	山口 富男		嬉野町老人クラブ連合会副会長
	6	出	辻田 和子	監事	嬉野地区婦人会会長
	7	出	宮崎 京子	監事	嬉野町民生委員児童委員協議会監事
	8	出	光岡 民夫		小中学校の職員(嬉野小学校教頭)
	9	出	池田 朋子		小中学校の職員(嬉野中学校教頭)
	10	出	原 美 和		高等学校の職員(嬉野高等学校教頭)
	11	出	津川 久博		高等学校の職員(塩田工業高校教頭)
	12	出	諸 井 洋		嬉野市商工会副会長
	13	出(代)	原口 政昭(松尾社長代理)		乗合運送事業者(祐徳バス(株)運行係長)
	14	出	遠山 秀策		乗合運送事業者(JR 九州バス(株)嬉野支店長)
	15	出(代)	庄司 淳(中塚本部長代理)		乗合運送事業者(西肥自動車(株)業務部長)
	16	出	山口 一広		貸切運送事業者(有)再耕庵タクシー業務主任)
	17	欠	太田 潤一		貸切運送事業者(佐賀タクシー嬉野営業所長)
	18	出	桑原 幹夫		貸切運送事業者(温泉タクシー(株)総務課長)
	19	出	江上 康男		佐賀県バス・タクシー協会専務理事
	20	欠	三根 正伸		運送事業者の運転手(祐徳バス(株)運転手)
	21	欠	副 島 明		鹿島警察署交通課長
22	出	山口 善寛		杵藤土木事務所管理課長	
オ ブ ザ ー バ ー	1	出	旗生 康之		佐賀県新幹線・地域交通課身近な移動手段確 保推進室長
	2	出	鐘ヶ江 豊		佐賀運輸支局首席運輸企画専門官
	3	欠	田中 貴之		佐賀運輸支局運輸企画専門官
その他 (2 名)	・温泉タクシー(株)代表取締役 山口 輝二郎 ・佐賀運輸支局首席運輸企画専門官 山下 賢舟				
事務局 (3 名)	・総務企画部企画政策課 課長 池田 幸一 ・ " 副課長 小野原 博 ・ " 主任(担当) 末永 一幸				

開会(午後2時00分)

事務局長
(池田課長)

只今から第20回嬉野市地域公共交通活性化協議会及び第21回嬉野市地域公共交通会議の合同会議を開催いたします。私は本日会議の進行を務めさせていただきます企画政策課の池田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

嬉野市地域公共交通活性化協議会委員の皆様には、各種団体よりご就任いただいております、本来であれば4月1日に委嘱状を交付しなければならないところ、本日の交付になることをお詫び申し上げます。任期は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの、1年間となっております。どうぞよろしくお願いいたします。また、地域公共交通会議委員につきましては、今回4月1日の人事異動等で新しく就任していただいた方のみ、委嘱状をお手元に準備させていただいております。なお、本日の会議には過半数の委員の御出席がっておりますので、協議会規約により会議が成立していることをご報告いたします。

本日は、初めての方もいらっしゃいますので、この協議会の目的・内容を簡単にお話ししたいと思います。本協議会は、平成20年に設置をしております。皆様のお手元に、昨年も一度お配りしました、「嬉野市地域公共交通総合連携計画」を準備させていただいております。こういう冊子となっております。こちらは平成21年に策定いたしました計画で、概ね10年間の嬉野市公共交通の取組について定めた計画書でございます。本協議会では、この計画書を変更する場合や計画書に位置付けている乗合タクシーについて主に協議をしていただくことになっております。

それでは、次第のとおり会議を進めて参りますが、本日は約1時間15分程度の会議にしたいと思います。協議会規約により会長は嬉野市副市長をもって充て、会長が会議の議長となることが規定されておりますので、議長により会議の進行をお願いいたします。それでは会長よろしくお願いいたします。

会長
(中島副市長)

皆さん、こんにちは。ただいま紹介頂きました嬉野市副市長の中島と申します。本日の協議会の会長を仰せつかっています。どうぞよろしくお願いいたします。

一昨日からの非常に大変な雨で、皆さんに非常に心配をかけたんじゃないかと思えます。嬉野市は、今報告がっておりますけど、大きな被害はあっておりません。それでも1か月以上で550ミリ近く降っているんじゃないかと思えます。他所をみると、ここ近辺で被害があったり、冠水したところが結構あったみたいですけど、田植えの時期で冠水した稲が心配される訳ですけど、その後が順調に生育していけばいいなと思っています。特に、交通会議と共通いたしますけれども嬉野市で工事がされています新幹線について、いろんな事がありますけども、やはり武雄から肥前山口までああいう風に冠水することになれば、新幹線が順調に武雄から長崎までが順当な路線と言う事でいい訳ですけども、あの辺がやはり低いので、やっぱり高架にならざるを得ないのかなということで改めて思いました。是非いろいろ異論が出てくるかと思えますけれども、そう言うことも踏まえなくてはならないのかなあと思っています。今日は、今年度初めてでございますけど、慎重審議の程よろしくお願いいたします。皆さん、大変ご苦勞様でございます。

<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>それでは早速議事に入りたいと思います。議事(1) 平成27年度嬉野市地域公共交通活性化協議会決算認定につきまして事務局よりお願いします。併せて、監査報告についてもお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局 末永</p>	<p>(資料1、資料2により説明)</p>
<p>辻田監事</p>	<p>監査報告をいたします。4月28日に宮崎監査委員さんとともに監査をいたしました。平成27年度事業執行ならびに収支決算に係る関係帳簿、伝票、証拠書類とも正確に整理されておりました。経理その他適正処理されていることを報告いたします。</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>ありがとうございました。それでは議事(1)につきまして、質疑をお願いしたいと思います。何かございませんでしょうか。どんなことでも結構ですので・・・</p> <p>それでは質疑等が無いようですので、議事(1)につきまして、ご承認いただける方は挙手をお願いします。</p>
	<p>(全員挙手)</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>どうもありがとうございます。全員挙手ですので、御承認をいただきました。ありがとうございました。続きまして、議事(2) 平成29年度嬉野市地域内フィーダー系統確保維持計画<乗合タクシー春日線・大野原線計画>(案)について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局 末永</p>	<p>(資料3により説明)</p>
<p>会 長 (中島副市長)</p>	<p>それでは、どうもありがとうございました。議事(2)について、事務局より説明いたしましたけど、ここで質疑を受けたいと思います。何かございませんでしょうか・・・</p> <p>一人当たりの経費は、結構かかっているんですけど、無くなれば市民の足を奪われるという事で、だんだん高齢者の方も増えておられますし、実際、免許の返納あたりが出てきておるみたいですので、世の中の動きがそういう形で有るので、是非この事業としては引き続き、続けていきたいと思っています。まっ、そういう関連でも結構ですけども、何かございませんでしょうか。</p>
	<p>それでは質疑等が無いようですので、議事(2)について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。</p>
	<p>(全員挙手)</p>
	<p>はい、どうもありがとうございます。議事(2)については、全員挙手ですので、議案のとおりの内容で佐賀運輸支局に提出をさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>

それでは、二つの審議をいただきましたので、無事に議事が終了いたしましたので、私の進行はこれで終りたいと思います。この後は、事務局で進行させていただきたいと思います。終わります。

事務局長
(池田課長)

それではここからは、地域公共交通会議として進めて参ります。式次第にもありますように、今回は「佐賀県新幹線交通課 身近な移動手段確保推進室」と「鹿島警察署」様よりお話を賜りたいと思います。本市におきましては、平成34年度九州新幹線西九州ルート開業を見据えた公共交通ネットワーク構築に向け、本公共交通会議等で検討を進めていく必要があります。今回は、その参考とさせていただくため、県内他自治体との取組み、それと県の取組概要について県からお話をさせていただきたいと思います。それと、高齢化の進行に伴いまして公共交通の重要性は増してくると考えておりますが、今のところ、高齢化の進行が公共交通の利用者増に繋がっておりません。今回、高齢者の交通事故や免許返納の実態、子供の交通安全対策を含めた交通講和を行っていただき、今後の本市の公共交通施策の参考にさせていただきたいと考えております。

それでは、「佐賀県 身近な移動手段確保推進室」の前山様よりお話を賜りたいと思います。前山様、よろしく申し上げます。

佐賀県
(前山 氏)

県庁の新幹線交通課、身近な移動手段確保推進室の前山と言います。この場に立ったものの、今日は電子紙くらいしか用意していません。なので、私の顔を見てお話を聞いていただければと思います。

県内の市町村の動向と言う事で御紹介したいと思いますけど、一昨年、昨年あたりからですね県内の市町村で交通の見直しをするところが結構出てきました。と言うのも、平成25年にですね、交通政策基本法と言う法律ができて、それまではどちらかと言うと、交通と言うと「事業者にお任せするものだ」と言うそんな感じの認識だったんですけども、この法律ができて「地域の交通は地域で、地方公共団体で考えて、その施策をやっていただきますね」と言う事になってきます。そうすると、当然例えば嬉野市さんで言えば、「嬉野市内の交通は嬉野市さんが責任を持って、いろいろ考えていかなければならない」となってきたわけですね。で、一昨年、昨年あたりからいろいろと県内で動きが出てきてまして、地域公共交通網（地域公共ネットワーク）の形成計画を作るという自治体が昨年までで4箇所ですね、唐津、玄海、吉野ヶ里、上峰。上峰は昨年度手をつけて、まだ計画までは作れていないですけども。今、四つ動きが出てきてます。今年度は、鹿島がその計画を作る予定です。太良町は、計画は作らないんですけども交通の見直しをしたいと言う事で動きがある状況です。唐津、玄海は、どういう風な状況かと言うと、あそこは結構大きな市なんですね、唐津市。で、あと玄海町は、経済圏としては一緒、まあ近いところと言う事で、一緒に県も関わってですね、計画を作ってきました。そこのコンセプトは、昭和自動車さんが路線バスを運行されて、独自でコミュニティバスなんかがあるわけではないという事だったんで、路線バスをしっかりと再現しようと、幹線と枝線と言う風にしっかりと分けて、乗り継ぎが必要になるようなケースですけども、ちゃんと待てるような環境にできないかと言う事をいろいろ議論しました。例としては、スーパーのですね「まい

ずるナイン」と言う唐津では割と有名なスーパーになりますけど、そのスーパーをお願いをして、ここに「バスを待つ人を待たせてください」と、店の敷地内にバス停を設けて「そこで待たせてくださいと、その代わり買い物したりするお客さんも増えるでしょう」と言う事でお互い有利な形でできないかと言う事なんです。待合環境を良くしていくと。そういうことで少しでも乗り継ぎが便利になるようにと言う事なんですけど。見直しをしたりしました。

あと吉野ヶ里町は、御存じと思うのですが、縦に南北に細長い街でして町の中心部に吉野ヶ里駅があり役場とかも中心部にあって、中心部が人口密度が高い。南北、北と南がどちらかと言うと人口が少ないところで、それまでは町が独自にバスを運行していました。

幹線の路線バスとしては、西鉄バスさんが町を東西に横切る形で路線があったので、路線バスをあんまり使っている感じではなかったですね。そこを吉野ヶ里のほうは、せっかくバスを走らせているけれども、空気を運んでいる空気バスじゃないかみたいな事をよく町民の方から言われる事が悩みで、そこを何とかしたいという事で見直しをされました。結果的にですね、吉野ヶ里町では町の中心部、人口密度が高いところは、いろいろスーパーとか病院とかあるので、そこはコミュニティーバスで回そうと、1時間に一本の頻度で回して行こうと。周辺部からの移動はデマンド、デマンドと言ってですね、要求があった時に走らせるって言うスタイルなんですけれど、タクシー会社に委託をしてですね、その代わり自宅まで来てくれる、予約は必要だけでも自宅まで来てくれて、行先はグルグル回るコミュニティーバスのバス停のどこかに行きますよと言う事で、周辺部からの移動をそのデマンドタクシーで行こうとなりました。…（事例紹介のため以下省略）

事務局長
(池田課長)

ありがとうございました。続きまして、鹿島警察署交通課、副島課長様よりお話を賜りたいと思います。副島様よろしくお願いたします。

鹿島警察署
(副島 氏)

こんにちは、鹿島署の副島です。日頃から、協力をいただきありがとうございます。…（以下省略）

事務局長
(池田課長)

どうもありがとうございました。路線バスの維持運行につきましては、全国的な状況ではありますけれども、嬉野市も非常に厳しい状況が続くかもしれませんが、高齢者・子供等の生活の足を守る意味でも、市としても現路線を継続していきたいと考えております。あわせて、先ほども申しましたけれども、新幹線開業を見据えた公共交通ネットワーク構築に向けまして、本公共交通会議等でも協議・検討を進めていきたいと考えておりますので、委員の皆様のご協力、よろしくお願いたします。最後になりましたけれども、質疑応答、意見交換に入らせていただきます。全体をとおしてご質問・ご意見等がありませんでしょうか。なんでも結構でございます。よろしくお願いたします。

佐賀県
(旗生 氏)

佐賀県新幹線・地域交通課身近な移動手段確保推進室長の旗生と申します。せっかく今日、皆さんお揃いになっている機会ですので、先ほど説明いただいた資料3の中に、5枚目15番の分で、住民さんのから各路線の課題等の意見や要望等があればご紹介

事務局 末永	<p>いただけないでしょうか。あと、利用者サイドというか委員さんの方々からのバスに対する意見等をお願いできればと思いますが。</p> <p>私の方から、県の室長さんからご質問がありましたけれども、乗合タクシーに関しては、需要の方が高くありまして、大野原線について利用者数が若干減っていると話をしましたが、大野原線の沿線から離れたところに集落がありますが、その住民の方がバス停まで遠くなかなか利用がしづらいということで近くまで路線を引けないかという話があります。山間部になると高齢者の方・運転をされない方、特に高齢の女性の方が運転をされない方が多いので、乗合タクシーに関して、バス停を増やしてほしい・路線を変更してほしいという要望が多くあります。現状については、元々バスが走っていた路線ですのでバス停によっては乗降数が少ない場合もありますが、常連の方もいらっしゃる「非常に助かっている」という声の方が圧倒的に多くあります。乗合タクシーばかりではなく、路線バスについても、今年2月に佐賀県と合同で、不動山の牛の岳線とか下吉田線のことで地元の区長さんと意見交換を行いました。そこで、バスの利用者数は減っているけれどもバス自体は将来自分たちも何時運転できなくなるのかもわからないし、近い将来訪れるかもしれないので、是非現路線については維持をして欲しいと言う声が強に残っているという現状です。</p>
嬉野小学校 (光岡 氏)	<p>下吉田線について付け加えていいですか。嬉野小学校の児童の数名が下吉田線、下吉田から嬉野まで通学で利用させてもらっています。通学の足としてずっと利用させていただきたいと思っています。加えてJRについても一位原から嬉野まで通学で利用させてもらっている小学生もおりますので、よろしくをお願いします。以上です。</p>
事務局長 (池田課長)	<p>私の方から追加ですけども、大野原線なんですけど金松地区ですね、大野原に行く途中に山手に入る道ですが、乗合タクシーを利用する為に自宅からかなりの距離があると。通院に利用したいが、なかなか遠いということで週に何回か、よければ金松地区にまわしてもらえないかという相談を受けまして、地域の集会所の方に現状説明をしまして、要望を聞いたりしています。この件に関しましては、道路状況や安全面を含めて調査をしている最中です。そのような要望が出ていることを報告いたします。</p>
委 員 (不 明)	<p>新幹線ができるという事で、乗合バスを利用される方が出てくるのではないかと思います。温泉街に観光でこられている客もいらっしゃいますから、そういうことで新幹線ができたならそれを利用して観光と言う事で、乗合バスを利用される方が多くなってくると思うんですが…。佐賀県では、流行らないかもしれませんがsuicaが鳥栖からこっち使われていないもんですから、そのようなものがあつたら利用される方も増えてくるのではないかと思います。</p>
佐賀県 (旗生 氏)	<p>JRは佐賀駅から東は使えます。JRにも度々要望していますが、要はそこでのお客さんがどれだけいらっしゃるかが結構大きいみたいなんです。やっぱり乗降数の多いと</p>

ころを優先的に対応されているというところがあります。

事務局長
(池田課長)

他の委員さんの方から今の件についてご意見等はありませんでしょうか。なんでも結構ですので御要望等あればお聞きしますが。

無いようでございますので、最後に今年度の予定です。この協議会は必要に応じて2回開催を考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして第20回嬉野市地域公共交通活性化協議会及び第21回嬉野市地域公共交通会議の合同会議を終了いたします。本日は、どうもありがとうございました。

